



環境に取り組む

HANEDA

エコエアポートの実現に向けて

東京国際空港環境計画



羽田空港の概況

◆ 羽田空港の概況

羽田空港は平成18年11月現在、全国の47空港とネットワークする、わが国最大の国内航空輸送の拠点空港となっています。

離発着回数	312,014回	(国内1位)
乗降旅客数	63,583,603人	(国内1位)
貨物取扱量	679,983トン	(国内3位)
滑走路	A滑走路 3,000m×60m B滑走路 2,500m×60m C滑走路 3,000m×60m	



出典)「平成17年度空港管理状況調書」

エコエアポートの実現に向けて

◆ エコエアポートの推進

CO₂削減対策を含む循環型社会の実現に向け、行政、企業、一般家庭等さまざまな分野において出来ることを少しでも進めることが求められています。

空港においても、その運用に伴い、地球温暖化物質の排出、廃棄物の発生など環境に影響を与えており、これらの環境負荷を低減し、エコエアポート(環境にやさしい空港)の実現に向けた取り組みが必要となっています。

◆ 空港環境計画の策定

エコエアポートの実現に向け、羽田空港全体で環境負荷削減に取り組むための、環境目標、目標年度、具体的な取り組みを策定し、「東京国際空港環境計画」としてとりまとめました。

東京国際空港環境計画

環境要素ごとに、環境目標を設定し、その目標達成に向け取り組みを実施していきます。

大気・エネルギー、水、廃棄物の3項目については重点項目として、具体的な数値目標を設定し、削減に向けて取り組んでいきます。

◆ 空港環境計画の基準年度・目標年度

基準年度 2005年度(平成17年度) :第二旅客ターミナルビル供用後
目標年度 2016年度(平成28年度)

環境目標とその取り組み

環境要素	環境目標	基準年度 (2005年度)	主な取り組み
 <p>大気・エネルギー</p>	発着回数1回当たりの二酸化炭素排出量を3%削減する	2.85 t-CO ₂ /回	<ul style="list-style-type: none"> 低排出ガス航空機エンジンの導入促進 GPUの使用促進 省エネ行動の徹底、アイドリングストップ運動の推進
 <p>騒音・振動</p>	空港隣接地域については、現在以上に騒音エリアを拡大させない	—	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音型航空機の導入促進 GPUの使用促進  <p>GPU(地上動力装置) 空港施設から駐機中の航空機へ電力や冷暖房空気を供給する装置で、排気ガスや騒音を大きく低減できます</p>
 <p>水</p>	I. 空港利用者(航空旅客及び従業員)1人当たりの上水使用量を5%削減する II. 防氷剤の使用量の低減を図る	I. 26.1 L/人 II. 338 kL/年	<ul style="list-style-type: none"> 節水器・節水コマ等の設置による節水の促進、雨水の利用促進 節水キャンペーンを実施し、空港利用者の啓発 防氷剤散布機の高性能化を図り、散布効率を向上
 <p>土壌</p>	防氷剤の使用量の低減を図る	338 kL/年	<ul style="list-style-type: none"> 防氷剤散布機の高性能化を図り、散布効率を向上
 <p>廃棄物</p>	空港利用者(航空旅客及び従業員)1人当たりの一般廃棄物の空港外への排出量を10%削減する	0.22 kg/人	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物発生量を計測し、その情報を共有化 ごみ減量化の意識向上のためのキャンペーンを実施 事務用紙使用量の削減、包装の簡素化、廃材利用製品の積極的利用
 <p>自然環境</p>	空港周辺的环境との共生に配慮し、空港周辺の生物の生息環境を保全する	—	<ul style="list-style-type: none"> 防氷剤散布機の高性能化を図り、散布効率を向上
 <p>その他</p>	公共交通機関の利用率を現状より着実に向上させる	85%	<ul style="list-style-type: none"> 空港関係者の自家用車通勤等から公共交通機関への転換を促進





空港環境計画のフォローアップ



◆ フォローアップ結果の公表

毎年、空港環境計画の実施状況を把握し、また、環境目標に対する評価を5年毎に行い、空港環境計画の着実な推進を図ります。フォローアップの結果はホームページで公表していきます。

http://www.mlit.go.jp/koku/04_outline/01_kuko/05_kankyuu/eoairport/tokyokokusai.html

◆ 実効性のある計画に

毎年の実施状況のチェックと5年毎の評価の結果を踏まえ、必要に応じて環境目標を見直し、実効性のある空港環境計画としていきます。

現在計画されている新滑走路および国際線地区の供用後については、具体的な事業計画や施設計画をもとに、5年毎の評価時に合わせて、環境目標を見直す予定です。



東京国際空港エコエアポート協議会



空港管理者と空港関連事業者からなる「東京国際空港エコエアポート協議会」を組織し、空港関係者が一体となって、エコエアポートの実現に向けて取り組んでいます。また、協議会への参加を広く呼びかけています。

協議会委員

国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所
(株)日本航空インターナショナル
全日本空輸(株)
スカイマーク(株)
北海道国際航空(株)
スカイネットアジア航空(株)
(株)スターフライヤー
空港施設(株)
東京空港冷暖房(株)
日本空港ビルデング(株)
(株)エージーピー
(株)ティエフケー
(株)ANAケータリングサービス

(株)櫻商会
東京空港交通(株)
京浜急行電鉄(株)
東京モノレール(株)
財団法人空港環境整備協会
三愛石油(株)
マイナミ空港サービス(株)
(株)ENEOSフロンティア
(株)JALグランドサービス
国際空港事業(株)
(株)JALエアテック
全日空モーターサービス(株)
国土交通省東京航空局
東京空港事務所

お問合せ先 東京国際空港エコエアポート協議会 事務局
国土交通省東京航空局東京空港事務所
〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-3-1
TEL 03-5757-3000(代表)